

【教職員一覧表】

(平成30年5月1日現在)

| | 氏名 | | クラブ活動 委員会活動 | 教科・校 務分掌等 | 備考 |
|----|-------|-------|----------------|--------------|---------|
| 1 | 松田 光二 | 校長 | | | |
| 2 | 森 一弘 | 教頭 | | 渉外 管理全般 | |
| 3 | 城 美晴 | ひまわり1 | 栽培 | 特支 人権 就学援助 | 特支コード |
| 4 | 森本真梨子 | ひまわり2 | 計画 音楽 | 特支 児童会 | ひまわりコード |
| 5 | 南本 千春 | 1-1 | 図書昔遊び | 研究 社会 | 研究 主幹 |
| 6 | 利重 里奈 | 1-2 | 給食 料理 | 算数 名札募金・拾得物 | Act 算数 |
| 7 | 石崎 絵美 | 2-1 | 集会 科学 | 国語 地区活動 | |
| 8 | 深井 福美 | 2-2 | 整備 手芸 | 生活・総合 清掃 | |
| 9 | 藤田 慎也 | 3-1 | 体育 特奥オセロ | 統計 理科 体育(外) | Act 国語 |
| 10 | 塩瀬 裕子 | 3-2 | 図書バドミントン | 図書館 キャリア教育 | 司書 |
| 11 | 植田 和久 | 3-3 | 栽培 バスケ | 教務 学校評価 | 教務 主幹 |
| 12 | 岡本 愛子 | 4-1 | 保健 英語 | 委員会 クラブ | 保健主事 |
| 13 | 荻野 慎也 | 4-2 | 集会 PC | 外国語 避難訓練 時数 | 情報・視聴覚 |
| 14 | 名田 量貴 | 5-1 | 生活 球技 | 生徒指導 机・椅子 | 生徒指導主任 |
| 15 | 安部 裕子 | 5-2 | 放送 ダンス | 家庭 学力向上 出席 | 小・中連携 |
| 16 | 横山 歩 | 6-1 | 体育 イラスト | 体育 書写 | 体育主任 |
| 17 | 池内 一裕 | 6-2 | 栽培 卓球 | 道徳 学級経営 | |
| 18 | 竹内 知子 | 音楽 | 放送 音楽 | 音楽 教科書 入退学 | |
| 19 | 紺野智衣里 | 図工 | 掲示 創作 | 図工 諸費 | |
| 20 | 中西 具子 | 新学習 | 生活 手芸 | 不登校・教育相談 | |
| 21 | 石田 悦子 | 新学習 | (整備 料理) | (算数少人数指導等) | |
| 22 | 河原徳次郎 | 主幹マネ | (栽培 科学) | (理科室・学習園等) | 学校だより |
| 23 | 小山里佳子 | 養護 | 保健 | 保健指導 性教育 | スポーツ振セ |
| 24 | 川原由利子 | 栄養 | 給食 料理 | 食育・健康 給食指導 | 給食会計 |
| 25 | 安田 陽子 | 事務 | | 経理 厚生会 公文書 | 共済組合 |
| 26 | 赤木 冷子 | 読書力 | | 図書館(※図書) | (※補助) |
| 27 | 岡 明恵 | 読書力 | | 図書館(※図書) | (※補助) |
| 28 | 小笠原 彩 | 教育支援 | | 教育支援員 | |
| 29 | 初鹿 政隆 | 計算科 | | ソロバン | |
| 30 | 宮崎 裕人 | 校務員 | | 園芸 施設 校具 | |
| 31 | 小寺 辰雄 | 校務員 | | 園芸 施設 校具 | |
| 32 | M・ルイス | ALT | | 外国語 | |
| 33 | 横山 寛子 | JET | | 外国語 | |
| 34 | 戸田 弘子 | SC | | スクールカウンセラー | 教育相談 |
| 35 | 井後 伴子 | 介助 | | ひまわり学級生活介助 | |
| 36 | 時 清心 | 多文化 | | 多文化共生サポーター | |
| 37 | 野村 奈美 | 多文化 | | 多文化共生サポーター | |
| 38 | 谷村 恵子 | 授業補助 | | 学力定着支援事業 | |
| 39 | 船越 康成 | 授業補助 | | 学力定着支援事業 | |
| 40 | 金川真由美 | 放課後学習 | | 学力定着支援事業 | |
| 41 | 津田 純子 | 放課後学習 | | 学力定着支援事業 | |
| 42 | 狩集 功 | 管理 | | 安全管理員 | |
| 43 | 秋岡 順二 | 管理 | | 安全管理員 | |
| 44 | 田中 捨雄 | 管理 | | 安全管理員 | |
| 45 | 稗島 信夫 | 管理 | | 学校開放職員 | |
| 46 | 牧田 進 | 管理 | | 学校開放職員 | |
| 47 | 間谷 康人 | 管理 | | 学校開放職員 | |
| 48 | 林 良昭 | 指導 | | 交通安全指導員 | |
| 49 | 喜志口忠司 | 指導 | | 交通安全指導員 | |
| 50 | 養茂 健一 | 指導 | | 交通安全指導員 | |

【日課表】

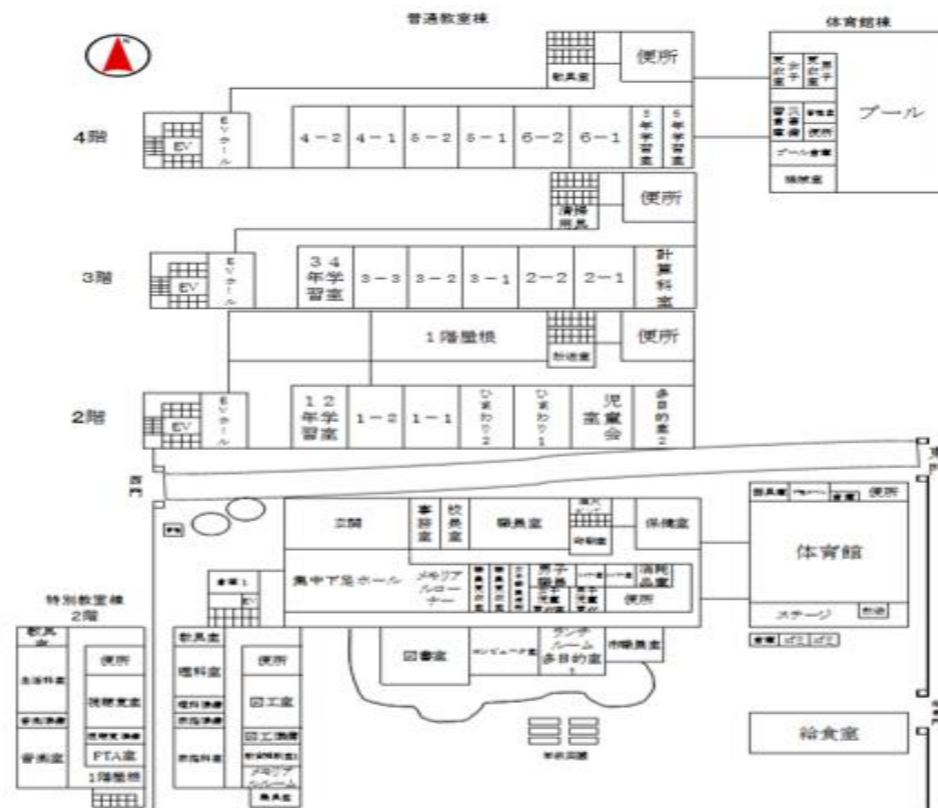
| | |
|--------------|---------------|
| 健康観察・わかば西タイム | 8:30 ~ 8:45 |
| 1 校時 | 8:45 ~ 9:30 |
| 2 校時 | 9:35 ~ 10:20 |
| 休 憩 | 10:20 ~ 10:45 |
| 3 校時 | 10:45 ~ 11:30 |
| 4 校時 | 11:35 ~ 12:20 |
| 給食 | 12:20 ~ 13:05 |
| 一斉清掃 | 13:05 ~ 13:20 |
| 休 憩 | 13:20 ~ 13:40 |
| 計算・漢字タイム | 13:40 ~ 13:50 |
| 5 校時 | 13:50 ~ 14:35 |
| 6 校時 | 14:40 ~ 15:25 |
| 学級活動 | 15:25 ~ 15:30 |

- ・計算・漢字タイムは、ソロバン・計算等の反復練習
- ・全校朝会、児童集会は、月曜日の朝
- ・委員会活動、クラブ活動は水曜日の6校時
- ・各学年の週時間
1年 …… 25時間
2年 …… 26時間
3年 …… 27時間
4～6年 … 28時間
- ・下校時刻は16時30分
※(11月～3月は16時15分)

【児童数・学級数・家庭数】(平成30年5月1日現在)

| | 男子 | 女子 | 合計 | 家庭数 |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| ひまわり1 | 5 | 0 | 5 | 4 |
| ひまわり2 | 1 | 3 | 4 | 4 |
| 1-1 | 16 | 15 | 31 | 31 |
| 1-2 | 16 | 16 | 32 | 31 |
| 2-1 | 15 | 18 | 33 | 32 |
| 2-2 | 16 | 16 | 32 | 30 |
| 3-1 | 15 | 14 | 29 | 23 |
| 3-2 | 14 | 14 | 28 | 24 |
| 3-3 | 13 | 15 | 28 | 20 |
| 4-1 | 20 | 14 | 34 | 28 |
| 4-2 | 20 | 15 | 35 | 18 |
| 5-1 | 16 | 21 | 37 | 26 |
| 5-2 | 18 | 21 | 39 | 20 |
| 6-1 | 13 | 16 | 29 | 20 |
| 6-2 | 12 | 16 | 28 | 17 |
| 合計 | 210 | 214 | 424 | 328 |

【校舎・教室配置図】



平成30年度

学校要覧



尼崎市立わかば西小学校

〒660-0084

兵庫県尼崎市武庫川町1丁目25番地

TEL (06) 6418-2888

FAX (06) 6418-2889

【HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/e19/>】

【校章】



～由来～

旧若葉小の校章にあった「若葉」のイメージと旧西小の「西」の文字をデザイン化したものを円でつなぎ、良縁になりますようにという願いが込められています。「小」という文字の周りには、旧西小学校のシンボルである「しだれ桜」をイメージした桜の花びらがあります。両校の子どもたちがまっすぐに、大きく伸びて欲しいという意味で葉の線は外側に向かって、まっすぐ伸びています。

(H28.4.5制定 図案：畑 有美)

【校歌】

わかば西小学校校歌

一、桜の花が 咲き誇り
笑顔あふれる 武庫の地に
新たな歩み 重ねつつ
歴史を刻む 子どもたち
永遠に翔けゆく わかば西

二、樹々の青葉に 包まれて
絆をつむぐ 校庭に
友と語り 朝やかに
大志を抱く 子どもたち
永遠に煌めく わかば西

三、高き山並み 仰ぎ見て
ひとみ輝く 学び舎に
不断の努力 積み上げし
未来に向かう 子どもたち
永遠に雄々しく わかば西

作詞 原田 正邦
作曲 松田 光二
編曲 一尾由里子
竹内 知子

平成二十八年十一月二六日 制定

【学校の沿革】

- 平成 28. 4. 5 尼崎市立わかば西小学校開校式・校章制定
(西小学校と若葉小学校の統合による)
- 旧若葉小学校校舎を仮校舎とする
- 4. 8 第1回入学式 新入生 82名
- 6. 3 尼崎市立わかば西小学校 PTA 結成
- 11.26 校歌制定 披露
- 29. 3.22 第1回卒業証書授与式
- 4. 10 第2回入学式 新入生 69名
- 30. 3.20 第2回卒業証書授与式
- 30. 4. 1 新校舎に移転(武庫川町1丁目25番地)



学校教育計画 【学校教育目標・めざす児童像】

わかるまで 自ら学習に取り組む子 思考 判断
 確かな学力 = 自分で考え 解決できる
 場を清め 協力して活動する子 勤労 協働
 にこやかに 挨拶と返事ができる子 明朗 礼儀
 しっかり食べ 進んで運動に親しむ子 食育の充実 体力の向上

【めざす学校像】

安全で 仲良く楽しくすごせる学校
 学習の基礎・基本の充実と個性・能力を伸ばす学校
 地域に親しまれ ともに協働する学校

【重点取組項目】

- 1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む
 - ① 授業改善の取り組みを推進するとともに、家庭との連携により学力向上を推進する。
 - ② 特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する。
 - ③ 食育を通して生活改善の取組を推進し、望ましい生活習慣を育成する。
 - ④ 体育・スポーツ活動の取組を推進し、体力・運動能力の向上を図る。
 - ・ 学力向上担当を中心に、児童の学力や生活の課題を把握し、家庭と共有する。
 - ・ 計算タイムを充実させ、基礎基本の定着を図るとともに達成感を感じさせる。
 - ・ 朝の学習タイムを充実させ、音読・漢字・言語技術習得のための基礎基本の定着を図るとともに、読書力向上担当と連携し、朝読書等、読書活動を推進する。
 - ・ 全教育活動を通して言語活動の充実を図り、表現・コミュニケーション能力の向上をめざす。
 - ・ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。
 - ・ 教員は「教えて考えさせる指導」に重点をおき、教材教具や授業の組み立てを工夫し、「わかる授業」「力のつく授業」の展開に努める。
 - ・ 保護者に理解・協力を求めて、積極的に家庭学習の習慣化を推進する。
 - ・ 児童の育ちや学びを滑らかにつなぐために、中学校との情報共有、連携に努める。
 - ・ 食育の指導計画をもとに「食」に関する正しい知識、情報を理解させ、家庭と積極的に連携した「早寝・早起き・朝ごはん」等、望ましい生活習慣の確立を図る。
 - ・ 身体を動かす楽しさや喜びを体感させる。特に外遊び(チャレンジ縄跳び等)や、仲間遊びの楽しさを感じさせ、休憩時間は外で遊ぶようにさせる。
- 2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る
 - ① 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る。
 - ② 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係や社会と関わりを努める。
 - ③ いじめ防止基本方針に基づき、誰もががしやすい学校の環境作りに努める。
 - ④ キャリア教育取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する。
 - ・ 道徳教育と特別活動の充実し、自尊感情の高揚を図る。
 - ・ 豊かな体験や交流を通して、感動する心や感謝する心を育てる。
 - ・ 日常生活の中で、互いを尊重し合う人間関係づくりに努め、規範意識を醸成する。(あいさつ・掃除・学校のきまりや社会的ルール等を守ることなどの指導)
 - ・ いじめの未然防止に努め、児童や保護者の相談しやすい環境づくりに努める。
- 3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む
 - ① 教職員の資質向上の取組を推進し、業務改善を進めながら学校の組織力及び教育水準の向上を図る。
 - ② 地域の教育力を活用した取組を推進し、地域とともにある学校づくりを推進する。
 - ・ 地域の行事に積極的に参加するとともに、地域人材の積極的な活用を図る。(盆踊り大会 学校開放運動会、登下校の見回り隊など)
 - ・ 教員の能力・個性を活かし、学校の組織力を高めるとともに、保護者・児童のアンケートを活かした学校評価、及び学校関係者評価の実施と公表を行い、教育活動に生かすことにより教育水準の向上に努める。
 - ・ 年間5回のオープンスクールの実施、ホームページの充実により学校の取組や教育活動を積極的に公開する。
 - ・ 地域に根ざした学習を通して、地域を愛し、地域に貢献できる人材を育てる。
 - ・ 学校ルールブックの活用、ファイルの統一化、共有化を推進するなど校務・業務の効率化を図ることで、業務改善を促進し、教員が児童と向き合う時間を確保する。
- 4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る
 - ① 安全教育の取組を推進し、登下校及び学校園内の安全確保を図る。
 - ② 防災教育の取組を推進し、危機管理能力の向上を図る。
 - ・ 自分の身は自分で守る事の指導を徹底し、登下校時の危険予測・危機回避能力を育成する。
 - ・ 家庭・地域、安全・見守り隊等と連携を密にし、通学路の安全確保と事故防止を徹底する。
 - ・ 地域の防災訓練などに参加し、自助・共助の取り組みで、地域児童の安全確保を推進する。
 - ・ 救命救急、地震・津波などの災害や、不審者侵入などに対する訓練を実施し、計画や実施案をより実践的なものへ見直し等を図る。

- ・ 生徒指導上の問題など、組織として対応し、早期発見、早期対応に努める。
- ・ 小中学校の連携を図り、実態に応じた指導を充実する。(小中連絡会議など)
- ・ 携帯電話やスマートフォン、パソコンなど、情報モラル等に対する指導を充実させる。
- ・ 発達段階に応じて、キャリア教育取組を推進出来るよう計画を立て、学ぶことと働くことの意義を理解させ、夢や希望をもって自己実現が図れるよう指導・支援する。

